

令和5年1月時点 兵庫県保健医療計画 数値目標達成状況調べ(目標数:計65(保健医療計画P453~掲載))

資料1-2

評価欄 ◎:目標値を達成 ○:現状値が計画策定時の値と比較して向上 ー:現状値が計画策定時から変化なく目標値に未達見込み ▲:現状値が計画策定時の数値と比較して悪化 ※:現状値が把握できていない

部	分野	数値目標 項目 (達成目標年度)	単位	全 県					地 域 別 (現 状 値)													所管課	備考・補足			
				計画策定時の値 (年月日又は年度)		現状値 (年月日又は年度)		目標値 (目標年度)	現状値に対する評価		出典等	数値の次回把握 予定時期	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波			淡路		
				計画策定時の値 (年月日又は年度)	現状値 (年月日又は年度)	目標値 (目標年度)	評価	取組状況の評価と今後の対応																		
保健医療提供体制の基盤整備	看護職員	(1) 看護職員(保健師・助産師含む)数(常勤換算数) 57,691人(2016)→ 60,421~63,937人(2023)	人数(常勤換算数)	57,691	2016	62,557	2020	60,421~63,937	2023	○	引き続き、養育力の強化、資質の向上、再就業・離職防止の3本柱を中心とした各種事業の推進により、看護職員の確保に努める。	衛生行政報告例	R5(2023)年7月	21,074	11,625	8,415	8,667	4,083	7,759	3,143	2,405	1,372	1,993	医務課	圏域における数値は実人員数(計70,536人)	
		(2) 特定行為研修を修了した看護師数(延人数) 182人(2017年)→ 884人(2023年)	人数(延人数)	182	2017	602	2020	884	2023	○	引き続き、看護職員資質向上事業、在宅看護機能体制強化事業等の推進により、特定行為研修を修了した看護職員の確保に努める。	衛生行政報告例	R5(2023)年7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医務課		
	保健師	(3) 保健師数(常勤換算数) 1,528人(2016年)→ 1,818人(2023)	人数(常勤換算数)	1,528	2016	1,726	2020	1,818	2023	○	引き続き、保健師確保に努める。	衛生行政報告例	R5(2023)年7月	476	309	187	281	130	146	133	109	57	75	健康増進課	圏域における数値は実人員数(計1,903人)	
	助産師	(4) 助産師数(常勤換算数) 1,299人(2016)→ 1,748人(2023)	人数(常勤換算数)	1,299	2016	1,343	2020	1,748	2023	○	引き続き、助産師の資質向上を図る事業等の推進により、助産師の確保に努める。	衛生行政報告例	R5(2023)年7月	537	258	138	183	63	181	25	48	21	39	医務課	圏域における数値は実人員数(計1,493人)	
	音楽療法士・園芸療法士	(5) 兵庫県音楽療法士の認定者数 365名(2016)→ 505名(2023)	認定者数	365	2017.3	419	2022.8	505	2023	ー	令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により音楽療法士養成のための基礎講座を休止。また、多くの高齢者施設において実践経験(施設実習)の受入を停止していることから、認定要件を満たすのに長期間を要し、養成が思うように進んでいない状況。上記現状を踏まえて今後の兵庫県音楽療法士養成のあり方について関係機関と協議を行うなど、検討を行う。	県医務課調べ	R5(2023)年3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医務課	
		(6) 兵庫県園芸療法士の認定者数 189(2017) → 279(2023)	認定者数	189	2017	258	2021	279	2023	○	平成29年3月に策定した「淡路景観園芸学校新展開戦略」に基づき、より効率的で学びやすいカリキュラムの見直し等を実施した効果が現れ、近年、入学者数・修了者数が増加傾向で、資格認定対象となる淡路景観園芸学校修了者数は現時点では増加目標には達していないが計画最終年度には達成される見込みがある。	県公園緑地課調べ	R6(2024)年3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	258	公園緑地課		
	地域医療連携体制の構築	(7) 地域医療支援病院を確保する圏域数 7圏域(8圏域中)→ 全8圏域(2023)	圏域数	7	2018	8	2019	8	2023	◎	達成済み	-	-	13	4	5	5	2	4	1	2	1	1	医務課	※圏域欄には病院数を記入(計38病院)	
	患者の自己決定権の尊重	(8) 患者用クリティカルパスの導入病院割合 45.7%(2017) → 50%(2023)	比率(%)	45.7	2017	-	-	50.0	2023	※	-	県医務課調べ	R5(2023)年4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医務課		
	救急医療	(9) 救急医療電話相談の実施市町(#7119) 神戸市(2017) → 県全域(2023)	市町数	1	2017	2	2021	県全域(41)	2023	ー	2019年度に芦屋市が参画した。引き続き、実施市の確保に努める。	県医務課調べ	R5(2023)年9月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	医務課	
	小児医療	(10) 小児救急電話相談時間(#8000) 24時まで(2017) → 翌朝8時まで(2023)	相談時間(～時)	24時まで	2017	翌朝8時まで	2018	翌朝8時まで	2023	◎	達成済み	県医務課調べ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医務課		
(11) 小児向け在宅医療関係研修会等の実施数 2回(2016)→ 3回以上(2023)		回数	2	2016	2	2021	3以上	2023	ー	引き続き、実施数の増加に努める。	県医務課調べ	R5(2023)年4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医務課			
災害医療	(12) 災害拠点病院の業務継続計画(BCP)の策定率 33.3%(2016) → 100%(2019)	策定率(%)	33.3	2016	100	2019	100	2019	◎	達成済み	県医務課調べ	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	医務課		
	(13) 統括DMATの災害拠点病院への配置 14箇所(2017) → 18箇所(2023)	箇所数	14	2017	17	2021	18	2023	○	赤穂市民病院で統括DMATが不在となっている。引き続き、統括DMATの確保に努める。	県医務課調べ	R5(2023)年9月	3	4	0	1	1	3	1	2	1	1	1	医務課	※圏域欄には病院数を記入(17/18院)	
	(14) EMISの入力訓練回数 年32回(2016) → 年35回以上(2023)	回数	32	2016	48	2021	35以上	2023	◎	引き続き、訓練実施数の増加に努める。	県医務課調べ	-	6	5	5	8	8	8	2	2	3	1	1	医務課	※圏域欄には実施回数を記入(48/35回)	
周産期医療	(15) 周産期死亡率 2.8(2016)→ 減少(2023)	死亡率	2.8	2016	3.4	2021	減少	2023	▲	周産期死亡率は2016年では120人であったのに対し2021年では122人であるが、出生数の大幅な減少により死亡率が増加した。2021年全国平均の3.4と同じ低い死亡率を維持しており、引き続き周産期母子医療センター支援事業により周産期死亡率の減少に努める。	人口動態調査	R5(2023)年9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医務課		
	(16) 災害時小児周産期リエゾン認定者数 3人(2016)→ 12人(2019)	人数	3	2016	13	2019	12	2019	◎	達成済み	-	-	6	4	0	0	0	2	0	1	0	0	医務課			

評価欄 ◎:目標値を達成 ○:現状値が計画策定時の値と比較して向上 ー:現状値が計画策定時から変化なく目標値に未達見込み ▲:現状値が計画策定時の数値と比較して悪化 ※:現状値が把握できていない

部	分野	数値目標 項目 (達成目標年度)	単位	全 県						地 域 別 (現 状 値)										所管課	備考・補足			
				計画策定時の値 (年月日又は年度)		現状値 (年月日又は年度)		目標値 (目標年度)	現状値に対する評価	出典等	数値の次回把握 予定時期	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬			丹波	淡路	
				評価	取組状況の評価と今後の対応																			
へき地医療	(17) 県で養成するへき地等勤務医師数 57人(2017)→158人(2023)	人数	57	2017	131	2022.4	158	2023	○	引き続きへき地等勤務医師の養成に努める。	県医師課調べ	R5(2023)年 4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医師課	
	(18) へき地等勤務医師の県内へき地定着数 50人(2017)→60人(2023)	人数	50	2017	52	2022.6	60	2023	○	引き続き、義務年限終了者に対し、キャリア支援を行うことにより、へき地定着数の増加を目指す。	県医師課調べ	R5(2023)年 6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医師課	
がん対策	(19) がんによる人口10万対年齢調整死亡率(75歳未満) 2021値で全国平均より5%低い状態を実現	年齢調整死亡率	75.3	2016	69.0	2020	全国平均より 5%低い状態	2021	○	引き続き、がん対策事業の推進により、がんによる死亡者数の減少に取り組む。	人口動態統計・国立がん研究センター	R4(2022)年値 がR5(2023)年 秋頃公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課	
	(20) がんによる人口10万対年齢調整罹患率(全国順位) 全国25位(2013) → 全国10位以内(2020)	罹患率全国順位	25	2013	32	2019	10位以内	2020	▲	乳がん等の罹患率の上昇により悪化。がん検診の受診率を向上を目指し検診の啓発に努め、早期発見・早期治療を推進する。	国立がん研究センター	R3年値がR5年 4月頃公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課	10万人対: 兵庫県 349.6人(2013) → 413.3人(2016) 全国平均 361人(2013) → 402人(2016)
	(21) 男性成人の喫煙率 24.8%(2016)→19%(2022)	喫煙率(%)	24.8	2016	21.9%	2021	19.0	2022	○	引き続き、禁煙支援・喫煙防止対策事業の推進により、喫煙率の低下に努める。	数値は、5年毎に実施している「健康づくり実態調査」により把握	R8(2026)年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	健康増進課	
	(22) 女性成人の喫煙率 7.1%(2016)→4%(2022)	喫煙率(%)	7.1	2016	3.7%	2021	4.0	2022	◎	引き続き、禁煙支援・喫煙防止対策事業の推進により、喫煙率の低下に努める。	数値は、5年毎に実施している「健康づくり実態調査」により把握	R8(2026)年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	健康増進課	
	(23) 未成年者の喫煙率 0.1%(中1女子 2016)→0%(2022)	喫煙率(%)	0.1	2016	0%	2021	0.0	2022	◎	引き続き、禁煙支援・喫煙防止対策事業の推進により、喫煙率0%の継続に努める。	数値は、5年毎に実施している「健康づくり実態調査」により把握	R8(2026)年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	健康増進課	
	(24) 未成年者の喫煙率 3.1%(高3女子 2016)→0%(2022)	喫煙率(%)	3.1	2016	0%	2021	0.0	2022	◎	引き続き、禁煙支援・喫煙防止対策事業の推進により、喫煙率0%の継続に努める。	数値は、5年毎に実施している「健康づくり実態調査」により把握	R8(2026)年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	健康増進課	
	(25) 未成年者の喫煙率 0.0%(中1男子 2016)→0%(2022)	喫煙率(%)	0.0	2016	0%	2021	0.0	2022	◎	引き続き、禁煙支援・喫煙防止対策事業の推進により、喫煙率0%の継続に努める。	数値は、5年毎に実施している「健康づくり実態調査」により把握	R8(2026)年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	健康増進課	
	(26) 未成年者の喫煙率 2.0%(高3男子 2016)→0%(2022)	喫煙率(%)	2.0	2016	0%	2021	0.0	2022	◎	引き続き、禁煙支援・喫煙防止対策事業の推進により、喫煙率0%の継続に努める。	数値は、5年毎に実施している「健康づくり実態調査」により把握	R8(2026)年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	健康増進課	
	(27) がん検診受診率 35.9~40.7%(2016)→50%(2022)	受診率(%)	35.9~40.7	2016	36.8~44.6	2019	50.0	2022	ー	引き続き、がん検診受診率向上の推進に取り組む。	国民生活基礎調査(厚生労働省・2019年)	R4(2022)年値 がR5(2023)年 夏頃公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課	
	(28) 精密検査受診率 66.0%~81.9%(2015)→90%以上(2022)	受診率(%)	66.0~81.9	2015	66.6~90.1	2020	90以上	2022	ー	引き続き、がんの予防・早期発見の推進に取り組む。	県疾病対策課調査(2022年)	R3(2021)年値 がR5(2023)年 秋頃公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課	
	(29) キャンサーボード開催回数 961(2016)→増加(2022)	回数	961	2016	3,685	2021 (1~12月)	増加	2022	◎	引き続き、がん医療充実の総合的な取組を推進する。	現況報告書	R4(2022)年値 がR5(2023)年 秋頃判明予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課	
	(30) 緩和ケア研修修了者数 4,027人(2017.3)→6,400人(2023.3)	修了者数	4,027	2017.3	7,031	2022.3	6,400	2023.3	◎	引き続き、がん患者の療養生活の質の維持向上に努める。	県疾病対策課調べ	R4(2022)年値 がR5(2023)年4 月頃公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課	
(31) がん性疼痛緩和指導管理料届出医療機関数 358(2017.3)→550(2022)	医療機関数	358	2017.3	478	2022.12	550	2022	○	引き続き、がん患者の療養生活の質の維持向上に努める。	施設基準の届出受理医療機関名簿(近畿厚生局)	毎月更新	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課		
脳血管疾患 (脳卒中)対策	(32) 脳血管疾患による年齢調整死亡率(男性) 36.9(2015)→減少(2020)	年齢調整死亡率(%)	36.9	2015	ー	ー	減少	2020	※	食生活や運動習慣などの生活習慣の改善を推進し、脳血管疾患による死亡者数の減少を目指す。	人口動態統計特殊報告都道府県別年齢調整死亡率(厚生労働省)	R2(2020)年値 がR5(2023)年 12月公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課		
	(33) 脳血管疾患による年齢調整死亡率(女性) 19.1(2015)→減少(H32)	年齢調整死亡率(%)	19.1	2015	ー	ー	減少	2020	※	食生活や運動習慣などの生活習慣の改善を推進し、脳血管疾患による死亡者数の減少を目指す。	人口動態統計特殊報告都道府県別年齢調整死亡率(厚生労働省)	R2(2020)年値 がR5(2023)年 12月公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課		
心血管疾患 対策	(34) 急性心筋梗塞による年齢調整死亡率(男性) 18.5(2015)→減少(2020)	年齢調整死亡率(%)	18.5	2015	ー	ー	減少	2020	※	高血圧、高脂血症及びこれらの予備軍に対して保健指導を重点的に実施し、心血管疾患対策の推進に努める。	人口動態統計特殊報告都道府県別年齢調整死亡率(厚生労働省)	R2(2020)年値 がR5(2023)年 12月公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課		
	(35) 急性心筋梗塞による年齢調整死亡率(女性) 7.6(2015)→減少(2020)	年齢調整死亡率(%)	7.6	2015	ー	ー	減少	2020	※	高血圧、高脂血症及びこれらの予備軍に対して保健指導を重点的に実施し、心血管疾患対策の推進に努める。	人口動態統計特殊報告都道府県別年齢調整死亡率(厚生労働省)	R2(2020)年値 がR5(2023)年 12月公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課		
糖尿病 対策	(36) 糖尿病による年齢調整死亡率(男性) 6.0(2015)→減少(2020)	年齢調整死亡率(%)	6.0	2015	ー	ー	減少	2020	※	内臓脂肪症候群対策の推進等により糖尿病対策の推進に努める。	人口動態統計特殊報告都道府県別年齢調整死亡率(厚生労働省)	R2(2020)年値 がR5(2023)年 12月公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課		
	(37) 糖尿病による年齢調整死亡率(女性) 2.6(2015)→減少(2020)	年齢調整死亡率(%)	2.6	2015	ー	ー	減少	2020	※	内臓脂肪症候群対策の推進等により糖尿病対策の推進に努める。	人口動態統計特殊報告都道府県別年齢調整死亡率(厚生労働省)	R2(2020)年値 がR5(2023)年 12月公開予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	疾病対策課		
	(38) 特定健診受診率(S) 46.5%(2015)→70%(2022)	受診率(%)	46.5	2015	49.7	2020	70.0	2022	ー	特定健診受診率は年々上昇しているが、目標は達成していないため、保険者と連携し受診率の向上を目指す。	厚生労働省公表値	R5(2023)年 12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	健康増進課	

評価欄 ◎:目標値を達成 ○:現状値が計画策定時の値と比較して向上 ー:現状値が計画策定時から変化なく目標値に未達見込み ▲:現状値が計画策定時の数値と比較して悪化 ※:現状値が把握できていない

部	分野	数値目標 項目 (達成目標年度)	単位	全 県						地 域 別 (現 状 値)										所管課	備考・補足								
				計画策定時の値 (年月日又は年度)	現状値 (年月日又は年度)	目標値 (目標年度)	現状値に対する評価		出典等	数値の次回把握 予定時期	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波			淡路							
							評価	取組状況の評価と今後の対応																					
精神疾患 対策	(39)	3ヶ月未満入院患者数 2,024人(2016)→2,164人(2018)	人数	2,024	2016	2,112	2021.6	2,164	2020	○	引き続き、関連事業の実施により、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	精神保健福祉資料	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課		
	(40)	3ヶ月以上1年未満入院患者数 1,583人(2016)→1,730人(2020)	人数	1,583	2016	1,549	2021.6	1,730	2020	▲	引き続き、関連事業の実施により、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	精神保健福祉資料	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(41)	1年以上入院患者数(65歳以上) 3,762人(2016)→3,535人(2020)	人数	3,762	2016	3,717	2021.6	3,535	2020	○	引き続き、関連事業の実施により、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	精神保健福祉資料	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(42)	1年以上入院患者数(65歳未満) 3,112人(2016)→2,488人(2020)	人数	3,112	2016	2,240	2021.6	2,488	2020	◎	引き続き、関連事業の実施により、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	精神保健福祉資料	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(43)	地域移行に伴う基盤グループホーム等整備量(65歳以上) -(2016) →718人(2020)	人数	-	2016	637	2021	718	2020	○	引き続き、地域移行に伴うグループホーム等整備量の充足に努め、地域移行を促進する。	県障害福祉課調べ	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(44)	地域移行に伴う基盤グループホーム等整備量(65歳未満) -(2016) →649人(2020)	人数	-	2016	1,017	2021	649	2020	◎	引き続き、地域移行に伴うグループホーム等整備量の充足に努め、地域移行を促進する。	県障害福祉課調べ	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(45)	早期退院率(3ヶ月時点) 52.8%(2016)→69.0%(2020)	退院率(%)	52.8	2016	63.9	2019	69.0	2020	○	引き続き、関連事業の実施により、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	精神保健福祉資料	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(46)	早期退院率(6ヶ月時点) 81.0%(2016)→84.0%(2020)	退院率(%)	81.0	2016	81.8	2019	84.0	2020	○	引き続き、関連事業の実施により、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	精神保健福祉資料	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(47)	早期退院率(1年時点) 89.3%(2016)→90.0%(2020)	退院率(%)	89.3	2016	89.1	2019	90.0	2020	▲	引き続き、関連事業の実施により、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	精神保健福祉資料	R5(2023)年 3月~8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(48)	保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置 10圏域(2016)→全ての障害保健福祉圏域(2020)	圏域数	10	2016	全ての障害保健福祉圏域	2021	全ての障害保健福祉圏域	2020	◎	引き続き、関係機関の連携を推進し、精神科病院に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を推進する。	県障害福祉課調べ	R5(2023)年 3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
	(49)	年間自殺者数 942人(2016)→800人以下(2022)	人数	942	2016	916	2021	800以下	2022	ー	2019年には877人まで減少していたが、コロナ禍以降増加傾向。引き続き、相談窓口等の認知度を向上させ、相談希求行動につながるよう、自殺予防対策の実施に努める。	警察統計	R5(2023)年 3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	障害福祉課	
在宅医療	(50)	訪問診療を実施している病院・診療所数 1,688箇所(2016(H28)) →1,942箇所(2020) 2,195箇所(2023) 2,364箇所(2025)	対2017比(%)	1,688	2016	1,641~1,663 ※	2021	15%増加 (1,942箇所)	2020	▲	医師の高齢化等による閉院・休診が増加したため、施設数が減少した。引き続き、関係団体と連携し、新規在宅医の養成やICTを活用した在宅医療提供体制の充実を推進することにより、施設数の増加を図る。	保健医療計画データブック ※	R5(2023)年 4月	483	386~ 387	193~ 194	152~ 156	75~78	133~ 135	70~74	63~69	33	53~54	医療課	※保健医療計画データブックにおいて、当該地区の施設数が3未満の場合、「*」で秘匿(「0」は秘匿しない)されており、実数を把握できない。そのため、「※=1(最小値)」、「※=2(最大値)」とし算出する。				
	(51)	在宅療養支援病院・診療所数 912箇所(2017.4) →1,049箇所(2020) 1,186箇所(2023) 1,277箇所(2025)	対2017比(%)	912	2017	1,063	2022.7	15%増加 (1,049箇所)	2020	◎	引き続き、在宅医療提供体制の推進により、施設数の増加を図る。	施設基準等届出状況 (近畿厚生局)	R5(2023)年 4月	332	251	137	104	45	78	28	35	15	38	医療課					
	(52)	在宅療養支援歯科診療所数 573箇所(2017.4) →659箇所(2020) 745箇所(2023) 803箇所(2025)	対2017比(%)	573	2017	465	2022.7	15%増加 (659箇所)	2020	▲	2018年度時点で目標値を達成していたが、施設基準の見直しにより施設数が減少した。引き続き、在宅歯科医療提供体制の推進により、施設数の増加を図る。	施設基準等届出状況 (近畿厚生局)	R5(2023)年 4月	145	77	60	67	28	35	19	15	11	8	医療課					
	(53)	24時間対応体制加算の届出訪問看護ステーション数 495箇所(2017.4) →570箇所(2020) 644箇所(2023) 693箇所(2025)	対2017比(%)	495	2017	774	2022.7	15%増加 (570箇所)	2020	◎	引き続き、在宅医療提供体制の推進により、施設数の増加を図る。	施設基準等届出状況 (近畿厚生局)	R5(2023)年 4月	250	149	110	94	21	82	30	15	7	16	医療課					
	(54)	機能強化型訪問看護ステーションを有する圏域の数 在宅医療圏域18圏域(2017)→全40圏域(2023)	在宅医療圏域数	18	2017	27	2022.7	40	2023	○	引き続き、在宅医療提供体制の推進により、施設数の増加を図る。	施設基準等届出状況 (近畿厚生局)	R5(2023)年 4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医療課			
	(55)	退院支援加算の届出病院・診療所数 215箇所(2017.4) →訪問診療需要の増加比率に応じた箇所数等の増加 (247箇所(2020) 280箇所(2023) 301箇所(2025)) ※現在は入退院支援加算に改称	箇所数	215	2017	221	2022.7	15%増加 (247箇所)	2020	○	引き続き、関係団体や関係部局と連携し、入退院支援を行う専任看護師確保に向けた支援を実施し、施設数の増加を図る。	施設基準等届出状況 (近畿厚生局)	R5(2023)年 4月	67	34	21	31	12	26	8	8	3	11	医療課					
	(56)	地域包括ケア病床を有する圏域の数 36在宅医療圏域(2017)→40圏域(2023)	在宅医療圏域数	36	2017	38	2022.7	40	2023	○	引き続き、在宅医療提供体制の推進により、施設数の増加を図る。	施設基準等届出状況 (近畿厚生局)	R5(2023)年 4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	医療課			
	(57)	かかりつけ医のいる人の割合 73.5%(2017) → 80%(2023)	比率(%)	73.5	2017	69.7	2021.10	80.0	2023	▲	引き続き、医師会等の関係団体と連携し、特に数値が減少した地域に対して、かかりつけ医を持つことに関する普及啓発に取り組むとともに、かかりつけ医の育成・養成に取り組むことで、比率の向上を図る。	兵庫のゆたかさ指標	-	67.9%	70.5%	68.8%	61.4%	76.6%	76.1%	71.1%	78.6%	75.3%	75.0%	医療課	兵庫のゆたかさ指標改定のため、項目の修正等については、今後検討				
	(58)	在宅看取り率 25.3%(2016)→27%(2023)	比率(%)	25.3	2016	33.7	2021	27.0	2023	◎	引き続き、在宅看取り提供体制の推進により、比率の向上を図る。	人口動態調査から算出	R5(2023)年 9月	34.5%	35.0%	34.0%	35.6%	30.3%	33.6%	28.1%	38.0%	24.1%	29.2%	医療課					

評価欄 ◎:目標値を達成 ○:現状値が計画策定時の値と比較して向上 ー:現状値が計画策定時から変化なく目標値に未達見込み ▲:現状値が計画策定時の数値と比較して悪化 ※:現状値が把握できていない

部	分野	数値目標 項目 (達成目標年度)	単位	全 県							地 域 別 (現 状 値)											所管課	備考・補足			
				計画策定時の値 (年月日又は年度)		現状値 (年月日又は年度)		目標値 (目標年度)		現状値に対する評価		出典等	数値の次回把握 予定時期	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬			丹波	淡路	
				評価	取組状況の評価と今後の対応																					
保健・医療・福祉の総合的な提供体制の構築	結核対策	(59) 人口10万対結核罹患率 15.3(H28) → 10.0 (H33)	比率(人口10万対)	15.3	2016	10.8	2021	10.0	2021	○	罹患率は、2019年14.0、2020年11.7、2021年10.8と減少傾向にある。しかしながら全国9.2と比べ依然高い状況にある。患者の早期発見や確実な治療等、低まん延化に向けた取り組みを継続する。	感染症発生動向調査	R4(2022)年	13.2	11.7	7.3	10.5	9.2	8.8	11.5	5.8	10.0	12.7	感染症対策課		
	エイズ対策	(60) 年間患者・感染者届出数に占める患者割合 75.0%(2016) → 全国値以下(2021)	比率(%)	75.0 ※全国値 43.2	2016	34.8	2021	全国値以下	2021	◎	全国値H30は40.1、R2は46.0、R3は42.5と横ばいな傾向にある。本県では、H30は23.8、R2は53.6と増加するも、R3は34.8と減少傾向が見られた。引き続き、健康福祉事務所における匿名無料検査のより一層の受診促進を行う。	感染症発生動向調査	R4(2022)年	33.3	100.0	100.0	66.7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	感染症対策課	
	難病対策	(61) (難病診療分野別)専門病院の指定 ー (H29)→ 15難病疾患群の全てにおいて指定(H35)	疾患群数	ー	2017	15	2020	15	2023	◎	達成済み	ー	ー	9	7	3	7	3	5	3	2	1	1	疾病対策課	地域別の数値は難病医療専門協力病院数	
	歯科保健	(62) むし歯のない3歳児の割合 85.0%(2015) → 90%以上(2022)	比率(%)	85.0	2015	90.5 (暫定)	2021	90以上	2022	◎	引き続き健診結果の集計及び傾向分析とともに、市町母子保健事業への支援に努める。	R3年度歯科健康診査 (1歳6か月児及び3歳児健康診査)	R5(2023)年 8月	89.9	86.3	92.3	91.3	90.6	87.9	90.0	90.9	89.4	95.2	健康増進課		
		(63) 12歳児で歯肉に炎症所見を有する者の割合 4.2%(2016) → 3%以下(2022)	比率(%)	4.2	2016	4.1	2021	3以下	2022	○	引き続き健診結果の集計及び傾向分析とともに、学校歯科医との連携の推進等学校歯科保健事業の支援に努める。	R3年度保育所、認定こども園、幼稚園及び学校における歯科健診結果調査報告	R5(2023)年 3月	4.4	3.5	4.6	3.4	5.7	3.4	8.3	3.8	2.1	10.3	健康増進課		
		(64) 40歳で現在歯数28歯以上 64.4%(2016) → 77%以上(2022)	比率(%)	64.4	2016	76.5	2021	77以上	2022	○	引き続き歯周病検診の支援を行うとともに、定期健診の必要性について啓発を行い、歯周病の発症、進行の防止に努める。	R3年度兵庫県健康づくり実態調査	R8(2026)年	64.3	66.7	79.2	88.5	68.4	87.5	50.0	88.9	76.2	80.8	健康増進課		
		(65) 60歳の現在歯数24歯以上 68.4%(2016) → 73%以上(2022)	比率(%)	68.4	2016	78.6	2021	73以上	2022	◎	引き続き歯周病検診の実施や市町実施の介護予防事業の支援を行うとともに、介護を必要とする高齢者に対する口腔管理の指導、指導者の養成等に努める。	R3年度兵庫県健康づくり実態調査	R8(2026)年	58.2	74.2	72.2	56.3	82.9	84.6	66.7	68.1	80.6	55.6	健康増進課		